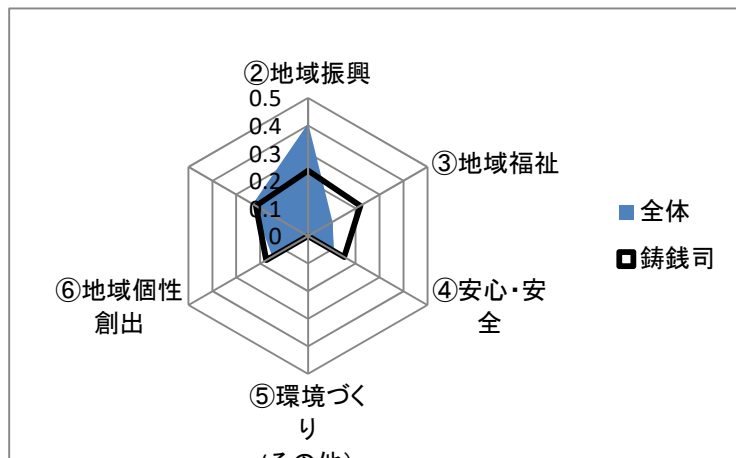


## 鑄錢司自治会 地域づくり交付金事業概要(令和4年度)

### ■地域の情報

地域人口	2,696人	自治会数	18
世帯数	871世帯	自治会加入率	86.5%

※数値は、令和5年4月1日のもの



### ■決算状況

交付金配分枠	11,023,000 円
交付金決算額	11,023,000 円
その他収入	81,037 円
交付金決算額/配分額	100.0%

### 各分野の決算

①協議会運営	4,583,183 円
②地域振興	502,496 円
③地域福祉	465,470 円
④安心・安全	323,400 円
⑤環境づくり(土木工事)	4,397,000 円
⑤環境づくり(その他)	371,097 円
⑥地域個性創出	461,391 円
決算総額	11,104,037 円

### ■地域づくりの活動方針(テーマ)

「みんなでつろう 明るい鑄錢司」をキャッチフレーズに、地域住民と各団体が協力して住みよい地域づくりを推進する。

### ■総括

第3次地域づくり5カ年計画の2年目であったが、新型コロナの影響により新年互例会や風鎮祭「盆踊りの夕べ」など、地区民が交流する事業を中止することとなった。その中で、感染対策の工夫をして、ふるさとまつりでの功労者表彰や防災訓練、三世代交流事業などを計画通りに実施できた。また、令和3年度に続き、ウォーキングの推進を継続できたことは、コロナ禍における事業の進め方として今後にはずみがあった。

### ■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長給与、事務局員給与、事務費
② 地域振興	地域情報発信事業、地域振興・交流事業
③ 地域福祉	子ども教育・高齢者福祉関係事業、健康づくり事業
④ 安心・安全	防犯対策推進事業、防災活動推進事業、交通安全推進事業
⑤ 環境づくり	土木工事、環境美化運動事業
⑥ 地域個性創出	地域資源PR事業、伝統文化の継承事業、ふるさと歴史勉強会事業、周防鑄錢司遺跡発掘調査支援事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	環境美化運動事業	決算額	371,097円
	目的	長沢池周辺を地域内外の憩いの場として整備		
	実施内容	①地域一斉清掃活動の推進 ②芝桜の管理など花づくり活動の推進		
	実施時期	①11月 ②7月、8月、9月、2月		
	参加人数	①50人 ②58人、6人、3人、130人		
	成果	①通学路や歩道に放置されたゴミや空き缶等の回収を実施した。 ②長沢池の芝桜の草取り及び水やり、松島の枯れ枝や枯葉の回収、大平山のフジバカマ畑拡張・整地及び周辺の伐採など大規模な整備を実施した。		
	評価	①環境美化活動を通して企業と地域住民との交流が図れた。 ②地域の子どもからお年寄までが参加し、更に地域内の11団体が協力して、芝桜の植栽や草取り、水やりを行うなど、三世代交流が図れた。		
今後に向けて	鑄銭司を訪れる人々が「きれいで花を愛する地域」と感じてもらえ、また行ってみようと思ってもらえるように、美化活動・花のある地域づくり活動を継続する。			
②	事業名	地域資源PR事業	決算額	251,950円
	目的	後世に残すべく貴重な資源の発掘		
	実施内容	地域行事と資源を載せたカレンダー制作		
	実施時期	3月		
	参加人数	750世帯・51社・14施設		
	成果	「鑄銭司の風景」と題し、四季折々の鑄銭司の風景・行事・建物の写真と地域の行事を載せたカレンダーを発行した。		
	評価	地域行事日程を知ってもらうことで、自治会活動への理解と協力を得られやすくなった。また、地域の再発見に繋がった。		
今後に向けて	地域の主要な行事が確認できるカレンダーとして、地域行事や活動に興味をもってもらい、参画する人の拡大につなげていく。			
③	事業名	防災活動推進事業	決算額	115,620円
	目的	地域住民の安全確保のための防災意識の向上と避難行動の徹底		
	実施内容	防災訓練の実施		
	実施時期	11月		
	参加人数	67人		
	成果	和西区の代表者42名と現地対策本部25名の合計67名が参加する形での避難訓練、その他の地区では情報伝達訓練を実施し、防災学習会として和西区で防災座談会を実施した。座談会では、過去に経験した災害の紹介や危険箇所の確認など、有意義な情報共有ができた。		
	評価	単位自治会が主体的に災害想定を行い、緊急連絡網の整備や、連絡がつかなかった世帯への安否確認、避難所への誘導など、各地区の実情に応じた防災訓練ができた。		
今後に向けて	新型コロナの動向を見て、救急蘇生法講習を地域で実施する。			